釣りファンは楽しみに待ってほしい」と話している。詳しくはホームページ

に。問い合わせは、同施設☎045（623）6030。（三木 崇）

活動などに活用している。（三木 崇）

災害時にドローン活用

横浜市と県協会が支援協定

災害時の小型無人機（ドローン）での情報収集に向け、横浜市は4日、県ドローン協会（同市中区、橋口普理事長）と支援活動に関する協定を結んだ。発災時に市の指揮でドローンを活用、空から被災状況を確認するほか、被災者の捜索や物資運搬などを支援する。

同協会によると、自治体と連携協定を締結するのは初めて。ドローンは人の立ち入りが難しい災害現場での情報収集を迅速、効果的に行えることから、市の担当者は「協定により、災害対応や復旧対策の向上が図られる」と期待している。

同協会は大規模災害時の実践的訓練「ビッグレスキューかながわ」などへの参加実績があるといい、橋口理事長は「ドローンが災害現場で役に立つことを市民に知ってもらえれば」と意気込みを語った。

市によると、市消防局でもドローンを導入し、救助

パワハラや領収書偽造

横浜市消防局が2人を懲戒処分

横浜市消防局は4日、パワーハラスメント行為など

葉っぱに広がる動物たちの世界

横浜市保土ケ谷区在住で「葉っぱ切り絵アーティスト」として活躍するリトさん（35）＝本名・橋本賢治さん＝の作品展が、同市西区のそごう横浜店6階で開かれている。地元で初めての展示には、1枚の葉の中に動物たちのユーモラスな世界が広がる作品など61点が並ぶ。

リトさんは大学卒業後に複数の会社に勤務したが、要領が悪く職場になじめなかった。その後、発達障害の一つ、注意欠陥多動性障害（ADHD）と診断された。それをきっかけに、興味のあるものに高い集中力を発揮する特性を生かし、独学で「葉っぱ切り絵」の制作を開始。インスタグラムなどの会員制交流サイト（SNS）への投稿から注目を集め、これまで400を超える作品を発表した。

展示された作品のうち、新作の2点は横浜がテーマ。横浜中華街の上空に、動物が乗った竜が舞う作品は「制作の合間に息抜きで中華街を訪れた時

そごう横浜 リトさんが切り絵作品展